

## 化学療法を受けている患者さんへ（家庭で気をつけること）

抗がん剤は細胞の増殖を抑制し、治療薬として高い効果をあげる反面、正常な細胞に対して毒性を有していることが知られています。投与終了後に排泄された尿や糞便から抗がん剤がわずかですが検出されます。そのようなことから治療時に同居している家族に有害な影響を及ぼさないため、治療終了後 \_\_\_\_\_ 時間（ \_\_\_\_\_ 日間）まで以下の注意が必要です。

### 〈排尿、排便の方法と処理の仕方〉

- 排尿、排便はできるだけトイレで行いましょう  
男性の場合、排尿時の飛び散りを避けるため、可能であれば洋式トイレで座って排泄して下さい。飛び散った場合は漂白剤（塩素系）を使用して掃除してください。
- 排泄後は、水を2回流す。（図①）
- 排泄後、石鹸と流水で十分に手を洗う。（図②）
- おむつを使用している場合、介助者は手袋（袖口が長いもの）、マスクを装着する。（図③）
- 汚れたおむつは、ビニール袋に二重に入れて口元をしっかりと閉じてごみ袋に入れてごみに出す。
- 使用後の手袋やマスクなどの防護具、おしりを拭いたペーパー類はビニール袋に二重に入れて口元をしっかりと閉じ、さらにごみ袋に入れてごみに出す。（図④）
- 介助者は、処理を終えた後は石鹸と流水で十分に手を洗う。（図②）

### 〈吐物の処理方法〉

- 介助者が片付ける場合、手袋（袖口の長いもの）、マスクを装着する。（図③）
- 吐物や拭き取りに使用したペーパー類は、ビニール袋に二重に入れて口元をしっかりと閉じてごみ袋に入れてごみに出す。（図④）
- 使用後の手袋やマスクなどの防護具は、ビニール袋に二重に入れて口元をしっかりと閉じ、さらにごみ袋に入れてごみに出す。（図④）
- 介助者は、処理を終えた後は石鹸と流水で十分に手を洗う。（図②）

### 〈排泄物や吐物で汚れた衣服、寝具の洗濯〉

- 下洗いは手袋（袖口の長いもの）、マスクを装着して取り扱う。（洗濯用洗剤を使用して家族のものとは別にする）（図③）
- 下洗い後は、家族のものと一緒に洗濯する。
- 直ちに洗濯ができないときは、汚れた物をビニール袋にて二重に入れて口元をしっかりと閉じておく。（図④）

